

# ようこそ先輩

豊橋市立松葉小学校

PTA 広報部

令和5年度

No.5

今にも雨が降り出しそうな6月22日(木)に「ようこそ先輩」が行われました。クラブ活動としての行事で、参加するのは4～6年生です。ゲスト講師のかたがたが、子どもたちに専門的な知識や技術や経験を惜しみなく伝えてくれました。

## 花のある暮らし ～生け花～

今年は新たにレインボーカーネーション作りが取り入れられました。白いカーネーションの茎の先端を三又にカットし、それぞれを赤、青、黄の液に入れて色染めをしました。「青色に染まってきたよ！」など周りの子と変化を楽しみながら、かわいい作品を制作していました。



## 火起こし・煮たきを楽しもう！



昨年も大人気だった火起こし、今年は雨のためテントの下で行いました。「調理実習みたい」「たのしみ～」と余裕の子どもたち。「枝入れすぎかな？」と入念に火を入れる準備をしていました。マッチ1本目で火がつく班もあれば、なかなかつかない班もありました。火を大きくするためにうちわでパタパタ、煙に目をいためながらも一生懸命火を起こしていました。「怖いな」「熱いな」と言いながらも火に薪をくべていました。お湯が沸くと火から飯ごうを下ろすのですが、それがまた難しい様子。お玉でお湯をカップ麺に慎重に入れていた姿は真剣そのものでした。苦労して作ったラーメンは絶品でした！おいしく食べた後は火の片付け方を教えてもらいました。

## けがをしない体づくり・ボール運動や短距離走の基本

最初はボールを使ってウォーミングアップ。「50回ボールをつなぐ」ではボールを回すために受け取る側が受け取りやすいように投げるコツを教えてもらいました。走り幅跳びでは、踏み切るタイミングを意識しながら両手を大きく上げてジャンプすると、飛べる距離が伸びていることに大喜びの子どもたちでした。他にも自分たちの体の硬さや動きのチェックをし、「私は体かたい??」「なんでこうなるんだー」「できたよ！」と悔しがったりガッツポーズをしたりしていました。体幹のトレーニングでは2人一組になり手を合わせてまわしあいます。これがまた難しい！苦戦しながらも講師から「これをやると体幹が鍛えられるんだよ」と教えてもらい実践していました。



## バスケットボール

三遠ネオフェニックスのかじーさんの身長は2メートル。びっくり顔の子どもたちでした。「これだけは負けない強みをまず見つけること。得意なことを見つけてそれを続けることです」



とプロになるために必要なことを教えてくれました。シュート練習ではアドバイスをもらいながら、シュートが入ると「ナイシュー！」外れても「おいしい!」「次は入るよ!」と励ましあっていました。ティーアップシュートでは、ドリブルをしてからシュートなので、足とのリズムが合わず苦戦する子どもたち。徐々にコツをつかんでいました。最後にかじーさんと3対1で勝負! 苦戦していましたが、それでも尻込みせず一生懸命に点を取りにっていました。子どもたちは額に汗を光らせながら、最後まで教えてもらったことを実践していました。

## ゲームクリエイターになろう! プログラミングにチャレンジ (初級)

講師のかたが「楽しんでもらいたいのので説明よりどんどんやっつけていこう!」と楽しそうな雰囲気でもらいました。組み合わせを増やすごとにキャラクターが動く! 勇者の髪の色が金髪に! おもしろい展開や変化に「音も出た! ヤバイ!」「すごい!すごい!」「楽しすぎる!」と盛り上がりながらゲーム作りを進めていました。



## スクラッチプログラミングで ゲーム作りにチャレンジ (中級)

講師のかたの自己紹介で、自分で考えて動くロボットのサッカー大会に出場していると話されていて、試合の様子を紹介してくれました。参加した子どもたちは、ブロックを組み合わせるスクラッチにすぐに慣れ、キャラクターやボールを動かすことに夢中になっていました。うまく動かなかった際、講師が「半角入力のところが全角になっているよ」と丁寧に教えてくれました。

## 豊橋の伝統凧について学ぼう

凧づくりは竹ひごに均一にボンドをつけたり細かい作業があったりしましたが、どの子も集中した表情で真剣な姿が見られました。親切で優しい講師のかたたちに「**どうやって紐を通せばいいの？**」と、たくさんの質問の音があがっていました。アドバイスを受けながらコツを教えてもらい、一生懸命制作しました。完成した凧はグラウンドで飛ばし、空が華やかでした。「**わあい、あがったよ!**」と楽しそうな声が響いていました。

## 将棋

机の上に並んだ将棋盤を前に、うずうずしている子どもたち。すぐにでも指したい気持ちが講師のかたにも伝わっていました。経験者がほとんどで、勝ったり負けたりといい勝負が繰り返されていました。必ずしも年上が勝つとは限りません。参加していた先生は、「**頭が疲れた!**」と子どもたちに悪戦苦闘していました。講師対子ども3人チームの対局では、子どもたちは講師の次から次へと襲いかかる一手に、じっくり時間をかけて慎重に考えていました。



## ストリートダンス

「ヒップホップは何歳でしょう?」「どこで生まれたでしょう?」「都会で生まれたと思う?田舎で生まれたと思う?」など最初はクイズ形式でヒップホップの歴史について学びました。



予想が当たったり外れたり「**へえ~!**」という声が上がっていました。音楽が流れ始めると楽しそうに、時に集中した面持ちで、体を動かし、先生やみんなとリズムに乗って踊っていました。

## 液体窒素実験

それぞれが、液体窒素の中に入れてみたいものを持ち寄ってスタート。「**どうなると思いますか?**」と聞かれて自分の予想を言い、手袋をして、トンガなどで持ってきた物をつかんで液体窒素の中へイン!キャベツ、ペットボトルの蓋、輪ゴムなどなど色んなもので実験しました。かちかちになったり、変化しなかったり、触ると割れたり!沢山の発見や驚きの連続!興味深く見たり触ったりとわくわくな時間を体験していました。



## 独楽（こま）作り

大・中・小の独楽に、自由にペイントしていました。まわったときに、どんな色になるのかを想像するのはなかなか難しいのですが、回しながらコツをつかんで仕上げていました。名人の講師とどちらの独楽が長い時間まわっているかの勝負を挑む子どもたち。やはり講師が連勝していました。回っている独楽をテレビ画面にうつし、塗ってある3色を当てる「色あてゲーム」では「絶対赤が入ってる!」「もしかして金色かな?」と大盛り上がりでした。



## アートワーク 私の美術館をつくらう

てのひらサイズに印刷された絵画作品がテーブルいっぱいに広がっていました。国内外のアーティストの作品で、描かれた時代はさまざまです。写実的なものから抽象的なものまで、カラフルなものからモノトーンのものまでありました。そのアートコレクションを使って、いろいろなグループワークをしていました。子どもたちは、作品から受ける印象やメッセージを読み取って言葉にすることや、作品と作品の共通点を見つけることなど、予備知識もない中で、初めて目にするアートに向き合っていました。

## 自然観察～松葉小学校・守下公園の自然～



守下公園のあちこちに広がって、すぐに「先生!見つけたよ!」や「これはなんだー?」と宝物を見つけるように落ち葉や、土の中、木のふもと、石の下、ベンチの裏、ありとあらゆるところで生き物を探していました。そして、捕まえた生き物をどんどんボードへ貼っていきます。すでにある生き物だと「もう見つけていたか～」とすぐさま次の生き物を探しに行く

姿はとてもきらきらしていました。名前のわからない生き物を見つけると「先生、これは新種?」と盛り上がり、いつか名前をつけたいとわくわくしながら先生と話していました。カタツムリやミミズ、ダンゴムシや蟻、カメムシ、シラミの仲間、他にもたくさんの生き物を探ることができました。

子どもたちが、人生の先輩たちから学ぶことはたくさんあります。どの講師のかたも、熱い想いを子どもたちに伝えようとしてくれていました。その想いは、子どもたちに届いていたように思います。いつか今度は子どもたちが、かつていい先輩になる日が来るかと思うと、とても楽しみです。講師のみなさま、子どもたちのために、どうもありがとうございました!